

Windom の解答速報 日本医科大学 英語

【解答と予想配点】

合計 300 点

[I] 小計 100 点

問1 [6 点(各 3 点×2)]

(1) ② (2) ②

問2 [6 点(各 3 点×2)]

1	c
---	---

2	d
---	---

問3 [12 点(各 4 点×3)]

ア	exception
---	-----------

イ	examples [experiences でも可]
---	----------------------------

ウ	employees
---	-----------

問4 [6 点]

a functioning health care tem [a successful medical team などでも可]

問5 [5 点]

To the contrary

問6 [15 点(各 5 点×3)]

(1) access (2) promise (3) evolution

問7 [25 点]

しかしながら、いかなる人であっても、その人がどんなに訓練を積んでいても、恐らくは全ての答えを知っているわけではないだろうし、また必要とされる全ての仕事を一人でできるわけではない。(解答欄が不明なので、全訳を記載した)

問8 [25 点]

その作業グループが、専門職種間のチーム医療が成果を上げるうえで鍵となると考える原則や価値観に関して

[II] 小計 100 点

問1 [42 点(各 7 点×6)]

1	accomplished
---	--------------

2	occupied
---	----------

3	intended
---	----------

4	worry
---	-------

resort

fits

問2 [24点(各6点×4)]

b

c

c

d

問3 [6点(各3点×2)]

4番目 (a) 6番目 (f)

問4 [15点(各5点×3) : 番号のみが正しく, 書き直した形が合っていない解答は2点減点]

(1) → necessary

(4) → does

(8) → execution

問5 [13点(A 7点+ B 6点)]

the text without understanding it

recover

[Ⅲ] 小計 100点

1. [25点]

ニュース視聴者が最も迅速にそして最も信頼できる仕方で配信される最新ニュースに寄せる期待。

2. [25点]

ジャーナリストはニュースを取材する不完全な過程の真っ只中で, しばしば記事を送るように求められるかも知れない。

3. [15点(各5点×3)]

a

b

b

4. [7点]

not limited to television networks

5. [7点]

a goal in football [a world-record in the 100-meter sprint などでも可]

6. [21点(各7×3)]

b, c, g

総評

例年通りの出題形式で、難易度もさほど変化がない。総じて言えば、日医らしい完成度の高い試験問題である。合格最低ラインは7割ほどであろう。

各論的講評

[I] 出典 :

amendnews.com. (<http://www.amendnews.com/article/20130121/opinion/130129989/5>)

【テーマ】 チーム医療の秘訣

【解法】

問1 (1) ② (2) ②

問2 1 空所の前にある couldn't は仮定法過去であるので、それに対応する時制をもつ選択肢を選べばよい。d. の without being operated も if 節の変わりをできるが、operate は「働く」という意味では自動詞なので受動態にならない。「私がチームという環境の中で働かなければ自分の仕事はできないだろう」という意味で c が正解。

2 空所の前に逆接の but があることを参考にする。不定冠詞の a がつかない few は否定的に働くので、ここでは but の前の肯定文に対して否定文を作ることになる。「確かに、個人医療からチーム医療へのこのような変化には代償として払わなければならないものもあるが、それはかなり上手くいっていることは疑うことを、疑ったり否定するものはいないだろう」となり、文意に合う。したがって、正解は d。

問3 ア 空所の直前に rather than があるので、norm 「標準」と対比になる語を考える。exception 「例外」がそれにあたる。

イ 文意から、「チーム医療の実例」や「チーム医療の経験」となればよい。したがって、examples か experiences が入る。

ウ 同段落の第 1 文で、10 年前の医療制度では、自立した、自営業的な医師が多数派であったと述べられている。それに対して、第 2 文では、今日そのような医師は 4 分の 1 に過ぎないと述べられている。それを前提に、空所を含む第 3 文が書かれている。したがって、ここでは self-employed とは対比的に employees が入る。意味的にも、「多様な専門を持つ医師、病院、医療制度が統合された組織に雇われるものになった」となり、文意に合う。

問4 空所の直後で「11 人の非常に訓練された選手をフィールドに入れても、そ

れだけでは勝利を収められるほどの力を持ったフットボールのチームを作れるわけではない」と述べられていることを参考にする。つまり、それを前提に「非常に訓練された人たちを診察台の周りや患者の治療の場面に配置したからといって、効果的に機能する医療チームができるわけではない」と考えればよい。

問5 空所を含む文と空所以降が対比的な内容になっている。したがって、To the contrary 「それと反対に」が入る。

問6 (1) 「あることを利用する機会や権利」なので、access 「利用する権利」(第5段第1文)が等しい。

(2) 「何か好都合なことが起こる兆候」なので、promise 「期待」(第5段第3文)が等しい。

(3) 「より大きくあるいはより良くなるようにあるものを増やすこと」なので、evolution 「進化」(第9段第2文)が等しい。

問7 しかしながら、いかなる人であっても、どの人がどんなに訓練を積んでも、恐らくは全ての答えを知っているわけではないだろうし、また必要とされる全ての仕事を一人でできるわけではない。

[基準] 25点 [①③⑥⑦⑧⑩各2点 ②④⑨各3点 ⑤4点]

- ① NP1 = No one, M1, M2, VP1: 「誰も M1 で M2 で VP1 しない」
- ② M1 = however
- ③ M2 = no matter how X NP2 is: 「NP2 がどんなに X しても」
- ④ X = well-trained: 「よく訓練されて」
- ⑤ NP2 = he or she: 「その人」 「彼や彼女」と訳した解答は配点しない。
- ⑥ VP1 = can M3 know NP3 or M4 do NP4: 「M3 で NP3 を知っているわけではないし、M4 で NP4 できるわけではない」
- ⑦ M3 = possibly: 「恐らく」
- ⑧ NP3 = all the answers: 「全ての答え」
- ⑨ M4 = individually: 「一人で」 「単独で」などでもよいが、「個人的に」では文意に合わないので不可。
- ⑩ NP4 = all the work VenP1: 「VenP1 されるすべての作業」
- ⑪ VenP1 = required: 「必要とされる」

問8 その作業グループが、専門職種間のチーム医療が成果を上げるうえで鍵となると考える原則や価値観に関して

[基準] 25点 [①⑥⑨各3点 ②③④⑦⑧⑩各2点 ⑤4点]

- ① concerning NP1 and NP2 RC1: 「RC1 する NP1 と NP2 に関して」
- ② NP1 = principles: 「原則」

- ③ NP2 = values : 「価値観」
- ④ RC1 = NP3 consider NP4 : 「NP3 が NP4 と考える」
- ⑤ NP3 = they : 「その作業グループ」 当該下線部を含む段落の第1文にある an Institute of Medicine working group を受けている。group は集合名詞で、それを構成する個々の成員を想定しているので複数形で受けている。Institute of Medicine は固有名詞なので、訳出してもそのまま原語で書いてもどちらでもよい。解答例では訳さずに処理した。
- ⑥ NP4 = key for NP5 : 「NP5 にとっての鍵」
- ⑦ NP5 = X Y Z care : 「X Y Z の医療」
- ⑧ X = successful : 「上手くいく」 「成功する」 などでも可。
- ⑨ Y = interprofessional : 「専門職種間の」
- ⑩ Z = team-based : 「チームに基づく」

[略字一覧]

NP	[noun phrase]	名詞句
VP	[verb phrase]	動詞句
VingP	[present participial phrase]	現在分詞句
VenP	[past participial phrase]	過去分詞句
RC	[relative clause]	関係詞節
M	[modifier]	修飾語句
X, Y, Z		任意の語(句)

[II]

- 問1 1 「読書がどのように行われるかを考えずに」という意味になるので、accomplished が入る。accomplish は他動詞なので受動態にする。
- 2 「あなたの心が一語一語の言葉の意味について考えることはないだろう」という意味で、occupied が入る。be occupied with A 「A に従事する」
- 3 be intended to do 「～するのを意図している」
- 4 「私たちが個々の言葉について悩むのは、たまにしかない」 worry about A 「A を気にする」
- 5 「このような場合に、私たちは文脈からその言葉の意味を推測する」 resort to A 「A に訴える、A に頼る」
- 6 「その言葉がどのように文に当てはまるのか」という意味で fits が入る。三単現の s が付く。
- 問2 7 regard A as B 「A を B と見なす」の語法を前提に考える。d で用いられている compose は他動詞なので、as being composed of なら可。

8 空所を含む第1段落の最終文で、～ can be described as ～とされていることを参考にする。同じような語法で書かれているのが c. that is described as another になる。

9 空所を含む第2段落の第4文で、書き言葉で書かれたものを話し言葉にしても、テキストを理解したことには必ずしもならないという否定的な議論がされている。空所以降の文も否定的な内容なので、c. Similarly「同様に」が入る。

10 空所を含む最終文の主節は we can observe them ～と肯定的内容になっている。d. Whereas we cannot は否定なので、それが入る。

問3 完成された英文は、at an attempt to recover the integration of words in となる。be directed at A「Aに向けられる」や an attempt to do「～しようとする試み」というコロケーションを考えれば解ける。

問4 (1) → necessary

(4) → does

(8) → execution

問5 A the text without understanding it

B recover

[III]

1. those expectations は第1段最終文の news audiences value the latest news delivered in the quickest and most reliable way を受ける。第2段落第1文の get information easily and quickly ～ we want は、我々の情報収集能力を述べているので、ジャーナリストに対する期待を表してはいない。Our ability という語句に気付くことが重要である。

2. ジャーナリストはニュースを取材する不完全な過程の真っ只中で、しばしば記事を送るように求められるかも知れない。

[基準] 25点[①6点 ②⑤各2点 ③④⑥⑦⑧各3点]

① NP1 may be called upon to VP1 M1 M2: 「NP1はM1でM2でVP1することを求められる」

② NP1 = journalists: 「ジャーナリスト」

③ VP1 = deliver NP2: 「NP2を配信する」

④ NP2 = a story: 「記事」

⑤ M1 = often: 「しばしば」

⑥ M2 = in the midst of NP3: 「NP3の真っ只中で」 たんに「NP3の中で」と訳した解答は1点減点。

⑦ NP3 = the incomplete process of NP4: 「NP4の不完全な過程」

- ⑧ NP4 = newsgathering : 「ニュースを取材する」 「ニュースを集める」でも可。
3. 1 address は「～に取り組む」という意味がある。テキスト全体の文脈から「その様な期待に応えるために」という意味で用いられていると考える。
2 ブログが登場することで、新聞がラジオやテレビに比肩する方法を手に入れたという意味になる。d は「新聞がラジオやテレビ以上に高く評価される機会を得た」という意味だが、本文にその様な記述になる根拠はない。
3 空所の直後に「信用や信頼」という記述があることを参考に考える。このようなものを得られるのは、新聞が自らの責務を自覚し、そのアイデンティティを確立することによってである。a. beliefs と c. views は似た概念なので不可。
 4. 空所の直前に the tools that once limited live reporting to television networks ~ have been transformed into devices and delivery methods that are と書かれていることを参考にする。television networks に限られていた現場報道がそれに限られなくなったということ。したがって、not limited to television networks とすればよい。
 5. 試合の途中経過を報道する具体例が書かれていればよい。a goal in football 「サッカーのゴール」や a world-record in the 100-meter sprint 「100メートル走での世界記録」などがそれにあたる。なお、本文の a run in baseball での run は野球の「得点」のこと。
 6. b, c, g

総括

本年度の日本医科大学の問題でも私たちがやって来たことが正しいことが証明された。つまり、医療系英文を読むための背景知識をつけること、そして設問を解くための選択肢の判定技術と下線部和訳の添削作業である。

特に、私たちは1学期から授業はもちろんのこと、授業外でもオリジナルの『自習用英文読解教材』を配布し、その添削に努めてきた。また、2学期には設問の解法を学ぶべく、「客観問題の解法」と「記述問題の解法」について授業で扱うだけでなく、それらをより実践的に生かすべく授業内での「実践演習」を行い、それも全ての生徒に対して添削で指導してきた。英作文もまた然りである。

WINDOM 在籍生の合格が期待できるゆえんである。